

政治社会学Ⅰ

科目ナンバリング SOC-216

選択 2単位

木下 浩一

1. 授業の概要(ねらい)

○〇社会学といった呼称を、連字符社会学と呼ぶことがあります。本講が論じる政治社会学は、政治学と社会学にまたがった領域といえますが、あくまで社会学として論じていきます。

「政治」の定義はひとまずおくとして、本講では、個人に外在する「政治」が、われわれにどのような影響を及ぼすのか。われわれは「政治」に、どのような影響を与えうるのか。政治的コミュニケーションにおいて、メディアはどのように関わるのか。そのような問題を、ともに考えます。

本講では一部、ペアワークなどを行います。他の参加者とも意見や考えを共有しましょう。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治と社会の基礎的な事項について、説明することができる。
- 2) さまざまな「政治」を、われわれ個人や社会との関連のなかで捉えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

中間試験(50%)と期末試験(50%)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

*教科書は特に指定しない。

参考文献

伊藤高史 『ジャーナリズムの政治社会学』 世界思想社、2010年

加藤秀治郎・岩渕美克、他 『政治社会学』 一藝社、2013年

5. 準備学修の内容

▼授業では新聞記事を多用します。新聞記事や授業の内容から、1)興味関心を広げ、2)関心を絞り込み、3)特定の事例について調べ、4)再び受講してください。

▼毎週、1)から4)を繰り返し、2回の試験に臨んでください。リアクションペーパーやペアワークについても、同様です。

6. その他履修上の注意事項

▼後期に「政治社会学Ⅱ」を履修することが望ましい。

▼アクチュアルな時事問題を積極的に取り入れていきます。そのため、シラバス上の授業内容と相前後する場合があります。

▼学びは「やる気」がすべてです。「興味」から出発し「深める」、このすべての過程に、やる気は欠かせません。コツは「楽しむ」こと。楽しむことができれば、自ずとやる気がわき、継続できます。ただし、ここでいう「楽しみ」は、遊びのそれとは違います。大学ならではの知的な楽しみを共有しましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、イントロダクション
- 【第2回】 政治に関する一般的理解①:何が、どう問題なのか
- 【第3回】 政治に関する一般的理解②:右翼と左翼、保守と革新
- 【第4回】 政治に関する一般的理解③:民主主義は最善か
- 【第5回】 政治に関する一般的理解④:日米欧の文化・政治の違い
- 【第6回】 政治権力、支配、正当性
- 【第7回】 政治思想とイデオロギー
- 【第8回】 前半のまとめと中間試験
- 【第9回】 中間試験のフィードバック
- 【第10回】 世論形成と投票行動
- 【第11回】 政党・圧力団体・社会運動:政治における市民
- 【第12回】 政治社会学の理論①
- 【第13回】 政治社会学の理論②
- 【第14回】 質疑応答とペアワーク
- 【第15回】 まとめと期末試験